

問1 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

1. 1543 2. 1600 3. 1603 4. 1549

問2 戦国大名が自らの領国を治めるために、家臣や領民の行動を細かく定めた独自法を何という？

1. 武家諸法度 2. 分国法 3. 公事方御定書 4. 御成敗式目

問3 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 分国法 4. 武家諸法度

問4 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 毛利元就 2. 上杉謙信 3. 北条氏康 4. 武田信玄

問5 江戸幕府の禁教政策などに反発し、1637年に起こった大規模な一揆を何という？

1. 島原・天草一揆 2. 土一揆 3. 一向一揆 4. 百姓一揆

問6 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 港町 2. 城下町 3. 宿場町 4. 門前町

問7 戦国大名が、領国内での勝手な勢力拡大を防ぐために制限した行為を何という？

1. 刀狩 2. 検地 3. 兵農分離 4. 築城

問8 戦国時代、上杉謙信が武田信玄と何度も激しく争った戦いを何という？

1. 関ヶ原の戦い 2. 桶狭間の戦い 3. 川中島の戦い 4. 長篠の戦い

問9 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？

1. 禁教政策 2. 鎖国政策 3. 修学旅行 4. 廃仏毀釈

問10 1582年、織田信長が天下統一を目前にして明智光秀の襲撃を受け、自害に追い込まれた事件を何という？

1. 賤ヶ岳の戦い 2. 本能寺の変 3. 応仁の乱 4. 山崎の戦い

問11 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 豊臣秀吉 3. 今川義元 4. 徳川家康

問12 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 今川氏 3. 朝倉氏 4. 浅井氏

問13 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 織田信長 2. 武田信玄 3. 徳川家康 4. 豊臣秀吉

問14 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 足利義昭 2. 今川義元 3. 豊臣秀吉 4. 武田信玄

問15 鉄砲伝来をきっかけに日本とヨーロッパ諸国との間で行われた貿易を何という？

1. 朱印船貿易 2. 日明貿易 3. 遣唐使 4. 南蛮貿易

問16 織田信長が城下町の経済を活性化させるために行った、市場の独占や座の特権を廃止した政策を何という？

1. 御成敗式目 2. 兵農分離 3. 楽市・楽座 4. 太閤検地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1543	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。当時の領主であった種子島時堯がこれ入手し、すぐさま国内での国産化に成功しました。
問2	答え 2 分国法	分国法は、大名が領国内の平和と秩序を守るために制定した法律です。家臣同士の争いを禁じる「喧嘩両成敗」や、土地に関する紛争のルール、納税の決まりなどが記載されていました。
問3	答え 3 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問4	答え 4 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問5	答え 1 島原・天草一揆	1637年、天草四郎を中心としたキリスト教徒や農民が、領主の支配に反抗して島原・天草一揆を起こしました。幕府は大規模な軍勢を派遣し、これを鎮圧しました。
問6	答え 2 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問7	答え 4 築城	戦国大名は、分国法の中で家臣が勝手に城を建てる「築城」を厳しく制限しました。これは、家臣が勝手に防御拠点を築いて独立したり、反乱を起こしたりすることを未然に防ぐためです。
問8	答え 3 川中島の戦い	1553年から1564年までの間に、両者は信濃の川中島付近で5回にわたり激突しました。特に第4回目の戦いが最も激戦だったとされており、両軍合わせて多くの犠牲者を出しました。互いに実力を認め合うライバル同士の戦いとして有名です。
問9	答え 1 禁教政策	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策をとりました。信徒に対しては踏み絵を行わせたり、寺請制度で仏教徒であることを証明させたりして、徹底的に監視しました。
問10	答え 2 本能寺の変	1582年、中国地方の毛利攻めに向かっていた部下の明智光秀が、京都の本能寺に滞在していた信長を突如襲撃しました。信長はこの戦いで自害に追い込まれました。
問11	答え 4 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問12	答え 3 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問13	答え 1 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問14	答え 2 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問15	答え 4 南蛮貿易	日本が南蛮人（ヨーロッパ人）との間で開始した貿易です。鉄砲や火薬、キリスト教のほか、時計、眼鏡、タバコなどの新しい文化が流入しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、経済の活性化に大きな役割を果たしました。
問16	答え 3 楽市・楽座	織田信長は、城下町を繁栄させるために「楽市・楽座」を実施しました。これは、市場から座の特権を廃止し、通行税（関所税）の廃止なども併せて行うことで、誰でも自由に商売ができるようにする政策です。